

寸 洞

THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

第11号 1993.10

目 次

「2015年」の図書館???(池田尚志) …………… 1	小松左京『鳥と人』に続いて(杉山道雄) …………… 5
館蔵資料紹介	視聴覚資料案内 …………… 6
古活字版「大和物語」(森下純昭) …………… 3	図書館員から一言 松居千恵子 …………… 8
教官推薦図書	藤本美代子 …………… 8
秋の長き夜のために(小山田隆明) …………… 5	お知らせ …………… 8

「2015年」の図書館???

池 田 尚 志

最近、「電子図書館」という言葉をよく見かける。情報処理関係の学会誌をみると、欧米の「電子図書館」プロジェクトの紹介があり、あるいは研究会で「電子図書館」システムの特集が組まれたりしている。

「電子図書館」というのは要するに、今までのような紙の媒体による書物にかわって、磁気ディスクやCD-ROMなど電子的媒体の書物によること、通信ネットワークシステムによって図書館の蔵書へのアクセスを電子的に行うことなどを実現した図書館をイメージしたもののである。

最近ではCD-ROM出版は既にかなり普及しており、いろいろな辞書類や新聞記事などがCD-ROM化されて出まわっている。筆者は言語工学(自然言語処理に関連した分野)を研究分野としているが、この分野では電子化された言語データは貴重である。数年前までは、磁気テープ化された新聞記事データや辞書等を手に入れるのに高価で苦労したものであるが、今ではそこらにごろごろしている。この分野の進歩は全くもって速いものである。

しかし電子化出版物といってもまだその程度のことであって、「電子図書館」化はこれからのことである。図書目録はすでにたいのところで電子化されていて、図書の存否については電子的にアクセスし検索することができる。しかし、そのアクセスはまだローカルなものであるし、また図書そのものはまだ旧来の紙の媒体のまま

である。「電子図書館」では書誌情報だけでなく図書そのものの全体が、しかも文書構造の表現を含めて電子化(全文データベース化)されているはずであり、覗いてみたい図書の内容そのものをネットワークを通じてディスプレイ上に見ることができるといことになるようだ。

論文に引用されている文献などみてみたくなくて、しかし身近になく図書館にもなく、別の大学の図書館にあるということがわかって、コピーをとって送ってもらうといったことが最近何度かあった。学会も大小多くのものがあり、論文誌やシンポジウム・研究会の報告集など学術文献資料の数も最近是非常に増えてきている。こういったものについては早めに「電子図書館」化してもらえると助かる。全文データベース化してあれば、ディスプレイ上でながめてみて本当に必要な場合だけハードプリントすればよい。資料集を収集し自分の所にミニ図書館を作って管理する必要もなくなり、本棚も研究経費も、それに捜しまわる手間も助かるというものだ。

アメリカではクリントン政権の選挙公約の中に「各家庭、オフィス、研究所、学校、図書館を結ぶ全国的な情報ネットワークを2015年までにつくる。」ということが書かれている(『アメリカ再生のシナリオ』講談社)。日本でも「新社会資本の整備」ということが叫ばれ始めた。

先進の多くのボランティア的な努力もあって、日本でも大学や研究機関を結ぶ電子通信ネットワークが急速に整備されてきている。今では会議の案内や参加申し込

み、論文の提出、事務局との連絡といったことまで、電子メールでやりとりすることが普通になりつつある。優秀な公開ソフトウェア、学術研究データベース、また娯楽的な（あやしげな？）ソフト・おしゃべりまで含めてあらゆる類の情報が、このネットワーク上を飛び交っている。外国のネットワークとも結ばれていて、文字どうり地球規模で飛び交っている。

図書館に貯蔵されている情報が、このような情報ネットワークを通じて、だれでも簡単にアクセスできるようになることが「電子図書館」化ということになるのである。

ところで、世の中便利になれば、一方で何か面倒なこともつきまとうものである。切符の自動販売機は今は当たり前のものであるが、窓口で買うのであれば「どこどこまで大人何枚子供何枚」と口で言ってお金を差し出せばすむものを、自動販売機では自分で行く先までの値段を調べ、紙幣の皺を伸ばし指定の場所に入れて順番にボタンを操作しなければならない。利用者側にとってはサービス低下、労働強化である。ときどきお年寄りがボタンの操作が分からなくて困っているのを見かけることがある。

ワープロや組版ソフトなどといったものが発達してたいへん便利になってきた。パソコンでも実にきれいな印刷物を仕上げることができる。しかしこんなものがなければ、適当な手書きの原稿を印刷業者に渡すだけで、何日か待たばきれいな印刷物が仕上がっていたものを、組版ソフトでは即刻できる代わりに何かと忙しくなる。また自分で細かくレイアウトを調節しなければならないから、慣れないとストレスに陥りかねない。ワンマンバスの運転手のようなものである。

「電子図書館」になればどうだろうか。従来の図書館

なら専門家である館員に気軽に相談することもできたものを、「電子図書館」では自宅であるいは研究室でコンピュータのスクリーンを前におろおろすることになりかねない。逆にまた操作の練達者は、知らないなら知らないなりに幸せであったものを、検索されてくる情報の渦に巻き込まれ、己の創造的な脳細胞の働きを押し殺してしまうことになりかねない。通信の技術、データベース・検索の技術などとともに、ヒューマンインターフェイスの技術、知能化の技術の開発が望まれるゆえである。また情報過多時代に生きる知恵を磨いていく必要もありそう。

しかし今は何もそんなことを心配することよりも、とりあえず我が大学のキャンパスネットワークの設置・充実を期待することの方が先決である。（キャンパスネットワークの充実度はこれからの学生のキャンパスライフの質を左右するものになるし、受験生にとって大学選びの指標の一つにきつくなっていくものと思う。もちろん教職員にとっても大事なインフラストラクチャである。）

ともかく時代は確実に「電子化」の方向に進んで行くようである。「2015年」の図書館がどうなっているのか楽しみではある。（いけだ たかし：工学部教授）



CD-ROMのご案内

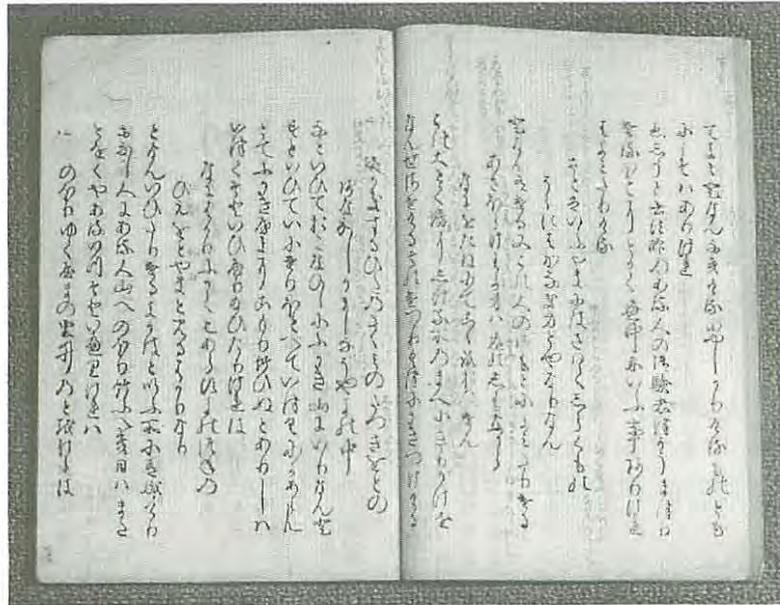
図書館では、次のCD-ROMを備えています。検索を希望される方は参考調査係または分館図書係にお申し込みください。

- MEDLINE（分館）
世界の医学関係分野の医学文献データベース。
- 医学中央雑誌（分館）
国内の医学関連文献の総合抄録誌のCD-ROM版。
- J-BISC（本館）
国立国会図書館で所蔵する和書の蔵書目録。
- 学術雑誌総合目録（本館、分館）
全国の大学図書館等で所蔵する雑誌の総合目録。
- 国文学研究資料館マイクロ資料目録（本館）
大学・図書館・文庫所蔵の写本・版本のマイクロフィルム資料の目録。
- CD-WORD（本館）
8カ国語、辞書13種類の辞書データを収録。
- 電子広辞苑（本館）
冊子体「広辞苑第3版」のCD-ROM版。
- 現代用語の基礎知識（本館）
冊子体「現代用語の基礎知識」のCD-ROM版。
- CD-HIASK（本館）
朝日新聞の記事情報の全文記事データベース。
- Excerpta Medica Library Service（分館）
雑誌「Excerpta Medica」のCD-ROM版。

館蔵資料紹介

古活字版『大和物語』

森下純昭



(本文)

てよりとなんなきけるあやしかりけるものども
にこそはありけれ

あしうと云法師のある人の御験者つかうまつり
けるほどにとかく世中にいふ事ありけれ
はよみたりける

さとはいふやまにはさはくしらくもの
そらにはかなき身とやなりなん
となん有ける又この人の御もとによみたりける
あさはらけわか身は庭のしもなから

なにをたねにてこころおひけん
この大とく坊にしける所のまへにきりかけを
なんせさせけるそのけつりくつかきつけける
まかきするひたのたくみのたつきおとの

あなかしかましなそやよの中
なといひておこなひしにふかき山にいりなんと
すといひていにけりほとへていつくにかあらん
とてふかきやまにこもり給ひぬとありしは

いつくそといひやり給ひたりければ
なにはかりふかくもあらずよのつねの
ひえをとやまと見るはかりなり

となんいひたりけるよかはといふ所に有成けり
おなし人にある人山へのほり給ふへき日はまた
とをくやあるいつそといへりければ

のほりゆくやまの雲井のとをければ

今回紹介する本学図書館所蔵の『大和物語』は、日本の書物史・印刷史において初めて活字印刷が導入され、多くの古典が一斉に刊行され始めた江戸時代初期のものである。そして、この古活字版『大和物語』の上巻には多くの朱の書入れがあり、そのことが本書の特徴ともなっている。また、表紙の見返しには、「昭和15年11月2・3日廣島文理大學ニ於ケル日本文化貴重図書展覧會ニ依頼ニヨリ出品『元和中活字本』トシテ陳列セラル（上

下2冊）」との貼紙があり、本書の来歴の一端を窺わせる。

さて、ここにいう「古活字版」とは、日本の印刷史のなかで、文禄（1592～）から江戸時代初期の寛永（～1644）にかけて盛んに行われた活字による印刷様式をさす。これ以前の奈良時代から桃山時代までの日本の印刷は、版木に絵や文字を彫り込んだ整版で、専ら寺院を中心に

小部数の発行であった。中世末になると、キリシタン文化とともに西洋の印刷技術が渡来し、一方朝鮮からも新しい活字による印刷技術がもたらされ、その結果漢籍・仏典のほかに、それまでは書写本で伝承されてきた『万葉集』『竹取物語』『伊勢物語』『源氏物語』などを始めとして、古典の類が盛んに刊行されることになった。『大和物語』もこれでようやく広く一般読者に読まれる機会を得たのである。元和年中（1615～1624）刊行とされる本学図書館所蔵本は、その新しい印刷技術である活字印刷による古典流布第一期の一冊ということになる。

本書の上巻には相当量の書入れがあり、これが本書の特徴となっているのだが、書入れの内容は、難解語句の解釈や人物についての説明、引歌・引詩などの指摘である。ここでは写真に掲げた部分でその内容の一部を紹介することとしたい。

写真掲出部分は、現行『大和物語』の41段末尾から44段の途中までの内容である。ここでは42・43段の書入れ内容を、その注釈対象とする語句を見出し語にして以下列記する。

〈さとはいふ〉の歌—きみによりわが名は花に春霞
 のにも山にもたちみちにけり
 中空にたちたる雲のほどもな
 く身のはかなくなりけるかな
 この二首の哥引合て見侍べき
 にや

〈あさぼらけ〉の歌—庭の霜を下々の身といふ心に
 そへたるにや ころおひけん
 とはきみを戀草のきざしたる事
 なるべし 朝露に寄て云遣しける

〈きりかけ〉—きりかけ夕顔の巻にきりかけだつ物
 とあり 板をめんとりばにしてふち
 をして牆のようにせし物也



これらは引歌や語釈などの注釈が主であるが、実はこれらのほとんど総てが北村季吟の『大和物語（拾穂）抄』の記述内容に酷似している。

『大和物語』の注釈書は、中世的学問の特徴をもった『（大和物語）鈔』（著者不明）が最古のものであるが、江戸時代初期には北村季吟の『大和物語（拾穂）抄』（承応二1653）、和田以悦『大和物語頭書』（明暦三1657）等が刊行され、さらに『大和物語直解』（賀茂真淵講義 宝暦十1760）等と、これらを参考にしあるいは祖述するものが江戸時代後期に数種ある。これら諸注の内容と上記書入れとを比較検討すると、上記の書入れ内容は順序に若干の違いはあるものの総てを季吟の『抄』に拠っており、他書の内容は入っていない。本書全体を通覧しても所々この注記者独自の異本校合・語釈等が見えるが、概ね季吟の『抄』の祖述である。但し、『抄』の総てを転記しているのではなく、語釈等を除いた注釈部分が主で、それも適宜取捨選択されている。なかでも引歌の指摘が大半を占めており、注記者の「引用」への関心のほどが知られる。

『大和物語』の内容は、10世紀ごろを生きた人々についての歌語りや古来の歌説話で構成されている。その中には現在に伝承される猿沢の池の采女の入水悲劇や森鷗外の小説に採り入れられる生田川伝説、また深沢七郎『楢山節考』に呼応する姥捨山伝説など、多様な内容を盛り込んでいる。その作者や成立は他の古典同様不祥であるが、歌語りとしてかなり読まれていたらしく、平安時代から中世にかけて歌学書などに種々引用され、その本文は鎌倉初期の歌人・古典学者藤原定家やその子為家・為氏等の書写本によって現代に伝えられている。そして本格的に研究の対象として取り上げられるようになるのは、『伊勢物語』『源氏物語』など特例を除いて、多くの古典作品がそうであるように江戸時代になってからである。北村季吟の『大和物語（拾穂）抄』がその端緒であるが、本書の書入れは、それをもとにしての読解の具体的事例である。

本書の資料的価値は、江戸時代最初期の出版物としての価値もさることながら、多量の書込みが『大和物語』の注釈史あるいは享受史を探る上での貴重な具体的資料ということにある。さらには、今後何等かの資料で、注記者や注の書入れ時期が判明すれば幸いであるが。

（もりした すみあき：教養部教授）

教官推薦図書

教官から、その専門分野を専攻しようとする学生に先ず薦めたい入門書・基本図書、あるいは、より多くの教官・学生に教養書として是非一読を薦めたい図書を紹介していただいています。

秋の長き夜のために

小山田 隆 明

秋の夜の月の光に、なぜか心せかれるひとのために、辻邦生著『風の琴』—二十四の絵の物語—（文春文庫）の一冊を。雑誌「文芸春秋」に掲載された短編小説、『十二の肖像画による十二の物語』と『十二の風景画への十二の旅』を文庫本にしたものである。

この本は、西洋名画の解説でも名画鑑賞でもなく、すぐれた絵画に出会ったときの深い感動を、小説家が短編小説として表現したものである。

すぐれた絵画は、なぜひとを感動させるのであろうか。それは、画家が肖像画や風景画を描くとき、真実や本質的なものを絵の中に塗り込めているからにちがいない。それゆえ、ひとは、絵画の感性的印象を通してそれらに触れ感動するのであろう。小説家はそれを見事に物語に移し換えている。

『十二の肖像画による十二の物語』では、ルネッサンス期の代表的な画家が描いた肖像画の人物から、鬱ぎ、妬み、怖れ、疑い、傲り、偽り、謀み、驕り、苔い、狂

い、婪り、誇りなど、小説家が肖像画の中の〈闇〉と言っている人間の本性ともいべきものを垣間見せてくれる。

『十二の風景画への十二の旅』では、風景は人間の魂の反映として見るとき最も詩的な表現を取り戻すとす小説家は、そうした情念に彩られた風景画の中へ架空の旅を試みる。クロード・ロランの「シバの女王の船出」の絵による第1の旅「金の壺」（ある旅立ちの物語）は〈生きるということ〉の、この本の書名でもある第3の旅「風の琴」（プッサン、蛇に噛まれて死んだ男のいる風景）は〈掛けがえのないもの〉の物語である。物語の多くは男と女の無明の愛と祈りの旅である。

二十四枚の絵をながめ、物語を読むとき、自分の心がどんな共鳴音を発しているか耳を傾けてみるのも、秋の夜にふさわしいことではないだろうか。絵のカラー印刷もきれいだ。

（おやまだ たかあき：教育学部教授）

小松左京『鳥と人』に続いて

杉山 道 雄

最近、小松左京の『鳥と人』を読んだ。『日本沈没』以来20年ぶりの書き下ろしである。著者の狙いは鳥と人との関わりあいを地球史以来説く他、未来にも言及して面白。

何よりも日本での鶏卵の価格が戦後から一寸も上がっていないことをヒット映画『青い山脈』の一シーンから現在のスーパーでの価格とくらべて説明することから始める。小生も永年、鶏卵の専門研究者を自負していたがこれほどわかり易く書けた人はいない。専門家として恥じ入った次第である。

だが、ここで少々不満が残ったのは日本内鶏卵についてはふれられているが、世界の鶏と人との関係はどうなるかということがふれられていない。そこに勇を鼓して『世界のたまご経済』（杉山著）富民協会（1993.6）を書いてみた。

これは21世紀に世界の卵生産がどうなるかを書いたもの。多くの予測が先進国は発達した生産力でもって世界の3分の2を生産し、途上国は人口急増によって3分の1の生産にとどまり、その不足分は先進国から輸入すると予測している。しかし、筆者はこれに反対し、先進国では鶏卵生産は停滞し、途上国で増大する

と予測した。これは世界30ヶ国以上の訪問調査によって、とくに途上国での爆発的な鶏卵生産の上昇という事実を念頭におきながら、挑発的にこの本を書いた。

中国、韓国、インドなど信じられないスピードで近代化しているからである。こうした国々の状態をみると「先進国での発達した生産力で生産し、輸出することを描いても、途上国は輸入する資金がない。資金があれば自国生産に踏みきる筈。また卵などこわれやすく、新鮮性を尊ぶ商品は貿易には不向きでもある。また進んだ技術で生産するからよいものでもない。その国の国情に合った方法で一歩一歩進んだ方がよい。バングラディッシュで成功した手押しポンプが、また道路も電気もない処では車よりもオートバイや自転車の方が喜んで受け入れられる。

先進国での進んだ生産物を輸出するのではなく、いかにして進んだか、その技術と共に前進のプロセスを示したり、システムを輸出するという、技術援助こそが大切であると。そこに先進国・日本の役割があると。関心のある方々の一読をとばかり乍ら、書いてみた。

（すぎやま みちお：農学部教授）

視聴覚資料案内

近年、ビデオテープ、CD-ROM、マイクロフィルム、レーザーディスク等は新しい情報提供の視聴覚資料として重要な位置を占めるようになってきました。今回はビデオテープについて御案内をします。どうぞ御利用ください。なお、利用については閲覧係に申し出てください。

戦略的バスケットボール

- 1 パス
- 2 ドリブルとフェイント
- 3 2オン2
- 4 オプション セット プレイ
- 5 ファスト ブレイクとアーリー オフェンス
- 6 フォーメーション 1
- 7 フォーメーション 2
- 8 ゾーン オフェンス
- 9 ルール編

世界トップアスリートに見る最新陸上競技の科学

- 1 100m
- 2 走幅跳・三段跳
- 3 短距離・リレー
- 4 ハードル
- 5 中長距離
- 6 走幅跳・棒高跳
- 7 砲丸投・やり投
- 8 ハンマー投・円盤投
- 9 ウォーミングアップ〈トラック編〉
- 10 ウォーミングアップ〈フィールド編〉

ザ・ワールドバレーボール

世界の名プレーヤハイテクニク

- サブ編
- レシーブ編
- トス編
- アタック編(女子)
- アタック編(男子)
- ブロック編
- ハイライト編(女子)
- ハイライト編(男子)
- 世界の名プレーヤ編(女子)
- 世界の名プレーヤ編(男子)

基本レッスン ラグビー

- 1 個人スキル編
- 2 集団スキル編

趣味百科 レッツダンス

- 1 パーティードダンス
- 2 ワルツ
- 3 ルンバ

- 4 タンゴ
- 5 チャチャチャ
- 6 ジャイブ・サンバ

シリーズ授業

- | | | |
|---|-------|---------------|
| 1 | 国語 1 | 漢字の字源をさぐる |
| 2 | 国語 2 | 詩と物語をあじわう |
| 3 | 算数 | 分数・式のたて方 |
| 4 | 社会 | 社会のしくみと歴史 |
| 5 | 理科 | 電気の実験・花粉のはたらき |
| 6 | 生活科 | 紙を作る・ヤギを育てる |
| 7 | 体育 | 跳ぶたのしき・側転 |
| 8 | 音楽 | リズム表現と歌・合唱の指導 |
| 9 | 障害児教育 | 発達の子をこえる |

別巻 授業の世界 アメリカの小学校の授業

教師教育ビデオ教材

- | | | |
|------|---------|---------------------------|
| 101 | 教育実習の日々 | —附属小学校編— |
| 102 | 教育実習の日々 | —附属中学・高校編— |
| 103 | 教育実習の日々 | —公立小学校編— |
| 104 | 教育実習の日々 | —公立中学編— |
| 105 | 教育実習の日々 | —公立高校編— |
| 705 | 体育 | —水泳 水遊び—浮く・泳ぐ
(小学校低学年) |
| 706 | 体育 | —水泳 クロール
(小学校中・高学年) |
| 707 | 体育 | —水泳 平泳ぎ—
(小学校中・高学年) |
| 1101 | 特殊教育 | 聴覚を生かす |
| 1102 | 特殊教育 | 精神薄弱児の教育とコンピューター |
| 1103 | 特殊教育 | 点字で学ぶ |

放送大学ビデオ教材

- 科学がわれわれに与えるもの
- あなたはあなたを知ってるか
- 電気を通すガラス
- 21世紀への画像工学
- 細胞の世界
- 面白い電磁気の実験
- 力とエネルギー 1-15
- 量子論 1-15
- 生きている鏡像

化学基礎実験方法ビデオシリーズ

- 1 実験室の安全性
- 4 ピペットの使用法 2
- 5 滴定
- 10 定性分析法
- 15 ガラス細工
- 18 分析天秤の使用法

最新組替え DNA 実験技術

- 1 核酸技術 一概説一
- 2 遺伝子解析とサザン・ブロッティング
- 3 M13 を使った DNA 塩基配列の決定
- 4 遺伝子ライブラリー
- 5 クローン化した遺伝子の発見
- 6 オリゴヌクレチド 一合成と発見一
- 7 試験管内での突然変異の作成
- 8 マイクロティセクションとマイクロクロニング

バイオテクノロジー・マニユアルシリーズ

- 1 植物バイオテクノロジーの世界
- 2 植物の遺伝子組替え技術
- 3 クローニングとシーケンシング
- 4 DNA 分析技術の応用
- 5 牛の体外受精技術

人工知能の基礎知識 1-26

第2種情報処理技術者試験対策講座

- 1 コンピュータの知識 ハードウエア 3-10
- 2 コンピュータの知識 ソフトウエア 1-6
- 3 プログラミング設計 1-4
- 4 プログラミング COBOL 1-10

シルクロード (NHK)

- 第1集 遙かなり長安
- 第2集 黄河を越えて
- 第3集 敦煌
- 第4集 幻の黒水城
- 第5集 桜欄王国を掘る
- 第6集 流砂の道 一西域南道2000キロ一

ルーブル美術館 (NHK)

- 1 神なる王・ファラオの時代 一古代エジプト一
- 2 メソポタミア・流砂の興亡 一古代オリエント一
- 3 ビーナスの微笑 一古代ローマ一
- 4 皇帝たちの光
- 5 大聖堂の時代 一中世ヨーロッパ一
- 6 花開くルネサンス
一レオナルド・ダ・ビンチへの道
- 7 北方ルネサンスのきらめき
一フランドルとドイツ一
- 8 巨匠たちの饗宴 一盛期ルネサンス一

9 光と影の王国 一スペイン黄金時代一

- 最高峰エベレスト (NHK)
- NHK ニューハイライト
昭和56・57年, 昭和58年, 昭和59年
昭和60年
- NHK ビデオ核戦争後の地球 1-2
- SUPREME (スプリーム)

一英語による発表と説得 国際学会・会議のために一
大系日本歴史と芸能 一音と映像による一

- 3 大道芸と見世物
- 10 都市と祝祭

ザ・石油 一オイルマンの熱い日々一

Mathematical methods and fluid mechanics—modules
1 & 2, 3 & 4

ニュートンの運動法則
選鉱における密度と粘性
熱力学入門

周期表と元素の性質

磁気回路

電磁誘導

光学レンズ

溶液

NACISIS—IR 情報検索入門

〈映画ビデオ〉語学練習用

- アニー・ホール (英語：字幕英語) 副読本付
- カリフォルニア・スイート "
- クレイマー・クレイマー "
- ベスト・キッド "
- 招かざる客 "
- 戦場の小さな天使たち "
- 追憶 "
- チャイナ・シンドローム "
- ゴースト・バスターズ "
- 愛しのロクサーヌ "
- ガンジー 1, 2 (英語：字幕日本語)
- 激流ナイルの恋 "
- いつも心に太陽を "
- オリバー "
- プラトーン "
- ロック イン ブルックリン "
- セント・エルモス・ファイナー "
- ショート・サーキット 2 "

図書館員から一言

松居 千恵子

図書館業務の電算化により、整理業務もコンピュータで入力しますが、装備の部分は手作業でなければなりません。出力されたラベル、登録番号シールを間違いのないように貼るのが、私のおもな仕事です。



毎日、何百冊もの新しい本に追いかけられながら、少しでも早く、利用される方々に読んでいただけるよう努力しております。

これからも、機械化による迅速化ばかりではなく、真心のこもった“笑顔のサービス”も忘れることなく努めていこうと思います。(まつい ちえこ：整理第二係)

藤本 美代子

私が最初、図書館（医学部分館）に勤務したときは、マニュアルの時代でした。

その後、機械化され紙テープから今は大型計算機（学情センター接続）、JOIS、CD-ROMなどが加わり活躍しています。仕事量も次から次と増えてきました。



今、一番大切にしているのはレファレンス業務です。先生方の研究に少しでもお役に立てればと思ひ頑張っています。年はとってまだまだ未熟者です。皆様にはご迷惑をおかけしていますがより一層努力していきたいと思います。

(ふじもと みよこ：医学部分館図書係)

お知らせ

・CD-ROM 版朝日新聞のご案内

本館に、朝日新聞の「CD-HIASK 1991年版、1992年版」（全文記事データベース）が入荷しました。CD-ROM 1枚には約10万件の記事、縮刷版で1年分、12冊とはほぼ同量の記事が収録されています。検索は自由語（フリーキーワード）で検索できます。

既に購入済みのCD-HIASK'89、'90のと併せてご利用ください。利用される方は参考調査係にお申し込みください。

・平成5年度の購入資料及び製本の受付について

図書、雑誌、製本の購入手続きの受付は平成6年1月末日をもって締め切らせていただきます。

休館日のご案内 平成6年3月下旬まで

次のように休館日を予定しています。

- ・毎月第二火曜日（附属図書館に限り2月は開館）
- ・12月25日（土）～1月5日（水）
1月8日（土）、3月の土曜日
附属図書館では次の日も休館日となります。
- ・2月25日（金）個別学力検査の日
- ・3月25日（金）卒業式・学位授与式の日

次のように夜間開館停止を予定しています。

- ・附属図書館 1月6日（木）～1月10日（月）
3月1日（火）～3月31日（月）
- ・医学部分館 1月6日（木）～1月10日（月）

*図書館の案内・掲示に注意してください。

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第11号 1993年10月30日

編集 委員長：梶山雅史 委員：百町満朗、荻 信隆、山崎捨夫、永田 拓、溝口敏博、中齋二三博、村上喜廣

発行 岐阜大学附属図書館

〒501-11 岐阜市柳戸1番1 ☎0582-30-1111